

先生からのメッセージ

おかげ様で、大変多くの方にご来院いただいています。私の外来は混雑していますので、比較的空いている夕方の時間帯や、非常勤医師の外来受診がお勧めです。受付やウェブサイトで外来担当予定を確認できますので、ぜひご確認ください。お待たせしてしまう場合も、待合室での時間なるべく快適なものになるよう、癒やしの空間を作りました。私の嗅覚で収集した「絵画」、両親作の「陶芸」、お勧めしたい多数の極め「本」も置いていますので、ぜひご覧になってください。



(上)広い待合室。穏やかで落ち着いた雰囲気。漂う。(下)院内には様々な日本画や陶芸作品が配されており、さながらギャラリーの趣。先生のご両親による陶芸作品も大切に飾られている。

頭痛、脳卒中予防、認知症に特化した地域医療を担う脳神経外科クリニック

院長 日本脳神経外科学会専門医

古市 晋先生

【ふるいち・すすむ】富山県出身。富山医科薬科大学(現・富山大学)卒業。同大学附属病院ほか各地の関連病院に勤務した後、平成19年開院、平成21年に法人化。趣味は美術・工芸鑑賞と読書で、院内には多くの日本画や陶芸作品が飾られている。
◆医学博士 ◆日本頭痛学会頭痛専門医 ◆日本脳卒中学会脳卒中専門医



TOPICS 基幹病院レベルの検査機器 高精度なMRI・MRA

基幹病院レベルのMRI・MRAを備えている同院。自覚症状のない脳梗塞などの発見のため、専門医による精密な検査・診断を迅速に行える体制を整えている。1.5テスラの核磁気共鳴装置は、脳の断面を上下、左右、前後の3方向から撮影でき、脳の血管を3Dで観察することも可能。過去に撮影した画像との比較から経時的な変化を診断し、将来のリスク予防にも積極的に役立っている。



脳神経外科専門クリニックとして、頭痛診療や脳血管障害の予防などを行う当院も、今年で開院十年を迎えました。この十年で高齢化が進み、医療を取り巻く環境も激変しています。これからの十年を前に、当院の医療の在り方を改めて真剣に見定める必要があると考えています。なかでも急務なのが、認知症の問題です。一人暮らしの高齢者も増えて、生活の全容すら見えていないのが現状でしょう。解決のためには、行政や介護に携わる皆さんとも協同しながら、様々な専門職の力を統合した、地域を俯瞰する医療の提供が必須。そのため当院でも、地域の専門医や基幹病院などを円滑に紹介できる体制を構築しています。また脳神経外科という立場から、地域医療の果たすべき役割を広く見つめている古市先生。開院十年を迎えたいま、先生の考える「今後の十年」を聞いた。

診察を行っていただきます。院長である私の診療日に限らず、安心してご来院いただける環境です。この十年という節目に、こまめでクリニックを支えてくれたスタッフも含め、様々なご支援をいただいた関わりのある方々に改めて大きな感謝をしています。日々の診療を通じて、患者さんからも多種多様な人生勉強をさせていただいています。社会の「動き」を冷静に見ながら、患者さんの「思い」を熱く受けとめるような診療ができるよう、自身の感受性をも磨いていきたいと思っています。これからの十年、ますます重要になってくる地域医療の役目を全うするためにも、あらゆる面で精進を続けていくつもりです。

医療法人 ほたるいか

横浜青葉脳神経外科クリニック

☎045-905-2272

横浜市青葉区あざみ野1-7-1

ゴールドワンあざみ野2階

<http://www.brain-clinic.net/>